

株主メモ（株式のご案内）

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

（郵便物送付先）〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

（電話照会先）①住所変更等用紙のご請求 ☎0120-175-417
②その他のご照会 ☎0120-176-417

（インターネットホームページURL）<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同取次所 住友信託銀行株式会社 全国各支店

公告の方法 当社ウェブサイトに掲載します。
<http://www.shofu.co.jp/ir/lib/lib.htm>

ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

上場市場 東京証券取引所 市場第二部
大阪証券取引所 市場第二部

株券電子化後の株式に関するお届出先及びご照会先について

平成21年1月5日に株券電子化となります。その後のご住所変更等のお届出及びご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。

株券電子化前に「ほぶり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といえます。）を開けたいします。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

株券電子化前後の単元未満株式の買取・買増請求のお取り扱いについて

<買取請求>

特別口座の株主様につきましては、株券電子化の施行日（平成21年1月5日）から平成21年1月25日まで、受付を停止いたします。また、平成20年12月25日から30日までに請求をいただいた場合は、代金のお支払は平成21年1月26日以降となります。

<買増請求>

平成20年12月12日から平成21年1月4日まで、受付を停止いたします。また、特別口座の株主様につきましては、株券電子化の施行日（平成21年1月5日）から平成21年1月25日まで、受付を停止いたします。

（見直しに関する注意事項）

本報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

【連載コラム】松風の歴史をたどる③

先駆者としての使命を胸に

高級陶歯の国産化をミッションに設立された松風の歴史は、研究開発の歴史にほかなりません。1937年には現在の日本における人工歯のスタンダードになっている「新形態バイオ陶歯」を、1940年には今日の床用レジン基礎となる「松風バイオレジン」を開発し、発売しました。

また、二代目社長・松風憲二は、1932年に内務省に設置された薬事振興調査会のメンバーに歯科関係者として任命されると、歯科材料の規格制定や品質向上に尽力し、戦後日本における歯科材料業界の進歩の基礎づくりを果たしました。同時に歯科材料の使用方法について広く知ってもらおうと、1939年には東京銀座に「松風陳列所」を開設し、機関誌「銀座松風」を発刊。市場の醸成もまた、先駆者の使命ととらえていたのです。

1939（昭和14）年に東京銀座に開設された「松風陳列所」



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

本社・工場

〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11番地
TEL 075-561-1112(代)

<http://www.shofu.co.jp>



この印刷物は環境に配慮し、大豆油インキ、水なしオフセット印刷で制作しています。



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

白い歯が輝く、

世界中の笑顔のために



第137期 中間報告書

（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）

Contents

世界中の人々の「健康」と「美」を追い求めて…………… 1p
株主のみなさまへ…………… 3p

DENTAL NOW シリーズ 歯科医療の現在 ⑤
修復用レジンが虫歯治療の主流に…………… 6p

特集
松風グループの「ものづくり力」…………… 7p
連結財務諸表…………… 9p
個別財務諸表…………… 11p
会社概要・役員、株式の状況…………… 13p
株主アンケート 集計結果のご報告…………… 14p

証券コード 7979

世界中の人々の「健康」と「美」を追い求めて

創造的な企業活動を通じて、世界の歯科医療に貢献します。

株式会社松風は、1922(大正11)年の創立以来、世界中の人々の願いである「健康」と「美」の実現に向けて、常にパイオニアとして時代に先駆けた商品を開発し市場に提供してきました。

歯科材料・機器の総合メーカーに成長した今日でも、その姿勢は変わることなく、これからも世界の歯科医療のさらなる発展を目指して、創造的な企業活動を続けてまいります。同時に、ネイルケア市場や工業用研磨材市場など、歯科材料で培ってきた技術やネットワークを生かせる分野にも積極的に進出し、経営基盤の強化を図っていきます。

事業別セグメント

※ 事業の透明性を高めるために、今回から下記の事業セグメントに分けて開示しています。

デンタル関連事業

人工歯、研削材、化工品、セメント、金属、機械器具など、創立以来の中核事業であるすべての歯科材料・機器が含まれます。



ネイル関連事業

2008年、株式会社ネイルラボを子会社化することで、ネイルケア市場に本格的に参入。マーケットシェアのさらなる拡大を目指します。



その他の事業

松風グループの一員である株式会社昭研を中心に、生産技術を生かして、金属などを加工する工業用研磨材市場にも積極的に進出しています。



主な事業内容(デンタル関連事業)

※ 市場シェアは、厚生労働省薬事工業生産動態統計(メーカー出荷額)に基づく当社調べ(2006年暦年・国内)

人工歯類

入れ歯や差し歯などに使われる当社の主要歯科材料で、国内トップシェアを誇っています。

- 人工歯/陶歯、レジン歯、硬質レジン歯
- 歯科用陶材



研削材類

天然歯や人工歯、歯科用合成樹脂や金属などの研削・研磨に用いられ、歯科治療・歯科技工ともに使用されています。

- 歯科用研削材
- 歯科用研磨材



化工品類

歯の詰めものや被せもの、入れ歯や差し歯に使用される歯科用合成樹脂や、歯の型をとる印象材、技工用ワックスなど種類は多岐にわたっています。

- 歯科用合成樹脂
- 歯科用印象材
- 歯科用ワックス



セメント類他

セメントは被せものや詰めもの、差し歯などの接着に、石こうは歯列模型製作に、埋没材は鑄造時の鑄型に使用されます。

- 歯科用セメント
- 歯科用石こう
- 歯科用埋没材



機械器具類その他

歯科治療や技工に用いられる機械器具や歯列矯正、ホワイトニング、予防・衛生材料などを含んだ製品分野です。

- 歯科用機器
- 予防・衛生材料
- 歯科用矯正材料
- 歯内療法用器具
- 感染予防製品
- 変色歯漂白剤



金属類

差し歯の土台や被せものなど、歯科鑄造用として広範囲に使用されています。

- 歯科陶材焼付合金、歯科鑄造用合金



デンタル関連事業

メルサージュ クリアジェル (研削材類)



デンタル関連事業

アイススペシャルC-I (機械器具類その他)

デンタル関連事業

レジセム(セメント類他)



デンタル関連事業

ビューティボンド (化工品類)



ネイル関連事業

ネイルデダンス



厳しい事業環境の中にあって 増収増益を達成することができました。

株主のみなさまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

当期中間期を終え、当社グループの業績の概要をご報告いたします。

また、当社グループは当連結会計年度から「デンタル関連事業」「ネイル関連事業」「その他の事業(工業用研磨材)」に分けて事業の種類別セグメントを開示することといたしましたので、併せてご報告いたします。



取締役社長
太田 勝也

事業活動の概要について

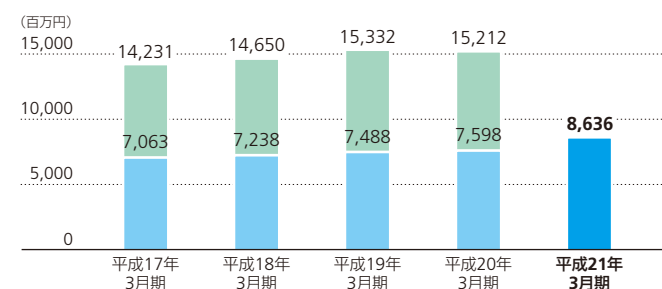
品質を重視しながらも 量的な成長・拡大に注力しました。

当第2四半期連結累計期間(2008年4月～9月。以下、上半期)におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発する米国経済減速の影響や、原材料価格の高騰により、企業収益が圧迫され、設備投資意欲が減退する一方、消費者心理も冷え込みが見られ、減速基調で推移いたしました。さらに、9月に入って、米国大手金融機関の破綻を契機とした金融・株式市場の混乱もありました。

当歯科業界におきましては、医療費抑制政策の継続、安全対策面での規制強化の一方で、業界全域での供給過剰による競争激化もあって、事業環境は一段と厳しさを増しております。

このような状況下にあって、当社グループは質を重視しながら量的な成長・拡大を図るべく、すべての競争力の源泉となる研究開発活動に経営資源を重点的に配分するとともに、国内外で積極的な販売並びにマーケティング活動を進めることによって、市場創出とシェア拡大に努めました。生産面ではさらなるコストダウン活動を展開し、競争力の向上に取り組みました。

売上高(連結)



また、顧客サービスの向上・充実のため、研修施設を備えた仙台営業所を新築、移転し、さらに大阪営業所の新築、移転に向けて用地を取得したほか、全社統合の基幹システム導入に向けたプロジェクトを設置し、より効率的な業務遂行への取り組みを進めました。

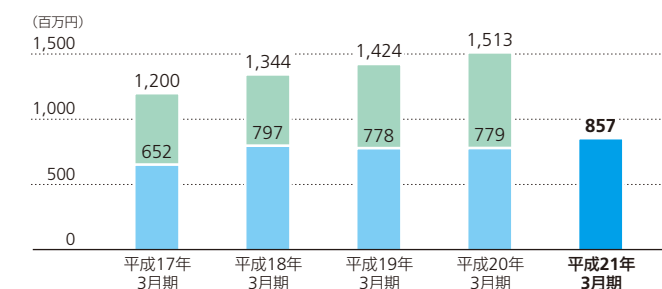
業績と配当について

既存事業の堅調な推移と新規事業への 本格参入から、増収増益を達成しました。

このような事業を展開いたしました結果、当社グループの上半期業績は、デンタル関連事業における売上げが引き続き堅調に推移したことに加え、ネイル関連事業への本格的な参入もあり、売上高は86億36百万円と、前年同期比10億37百万円(13.7%)の増収でした。なお、売上高に含まれる海外売上高は、22億57百万円(対売上高26.1%)で前年同期比1億17百万円(5.5%)の増収でした。

利益面につきましては、前年同期に比べ、ネイル関連事業の費用増加や株式会社ネイルラボの株式取得に係るのれん償却費の発生などによって販売費及び一般管理費が増加しましたが、増収効果から、営業利益は8億37百万円と、前年同期比97百万円(13.2%)の増益、経常利益は8億57百万円と、前年同期比78

経常利益(連結)



百万円(10.0%)の増益でした。さらに、特別利益として貸倒引当金戻入額及び関税還付金を計上したことや、前年同期に計上した投資有価証券評価損が当四半期末時点では発生しなかったため、税金費用を差し引いた四半期純利益は6億19百万円と、前年同期比1億21百万円(24.4%)の増益でした。

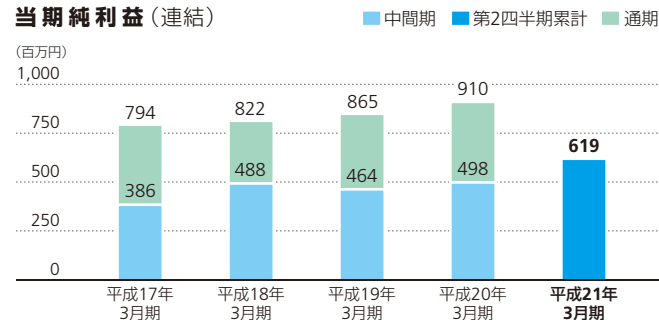
当期中間配当金につきましては、前期と同様1株あたり8円とし、本年11月28日を支払開始日とする旨、11月5日開催の取締役会で決定させていただきましたので、ご了承くださいようお願い申し上げます。

今後の取り組みについて

業界を取り巻く厳しい環境は継続するものの 重点課題を力強く推進してまいります。

第3四半期以降も、歯科業界を取り巻く環境の厳しさは継続するものと考えられますが、歯科医療は生きる力を支える「生活の医療」であり、求められる役割は大きいものがあります。

当社グループは、医療の一端を担う歯科材料・機器の総合メーカーとして、社会から安心され、信頼される存在であることを常に意識し、品質競争力、価格競争力、マーケティング力の機能強化を



重点課題に掲げ、グループの総力を挙げて、さらなる企業価値の向上と経営基盤の拡充強化に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

セグメント情報

上半期における事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりです。

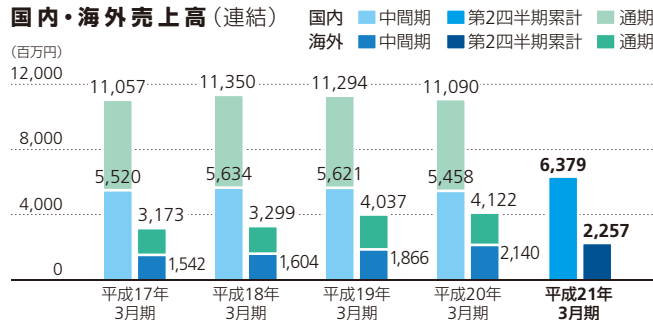
デンタル関連事業

国内では、前期に発売を開始したデジタル口腔撮影装置「アイススペシャルC-I」が引き続き順調に売上げを伸ばしたほか、歯科用象牙質接着材「ビューティボンド」、歯科重合用光照射器「ブルーショット」等の新製品が好調な滑り出しを見せました。また、海外では円高基調で推移したものの、人工歯類、化工品類等の製品群がアジアを中心に売上げを伸ばしました。



アイススペシャルC-I

これらの結果、当事業の売上



高は76億87百万円、営業利益は8億3百万円でした。

ネイル関連事業

ネイル関連事業は、従来、当社グループが歯科材料分野で有していた材料開発力・生産技術力と、株式会社ネイルラボが有するネイル業界におけるブランド力の連携により、今後、当社グループの企業価値の拡大が見込まれる新しい事業分野です。

当上半期は、事業基盤の整備を図る一方、当社グループが保有する技術によって開発された「ネイルデダンス」等の高品質ネイルケア用品を、業界内でのネイルラボのブランド力を生かして積極的に販売いたしました。

当事業の売上高は9億3百万円、営業利益は25百万円でした。

その他の事業

その他の事業につきましては、株式会社昭研が、歯科用研磨材の生産技術を応用し、工業用研磨材を販売している事業分野です。当事業の売上高は45百万円、営業利益は9百万円でした。

2008年11月

取締役社長 **太田 勝也**

修復用レジンが虫歯治療の主流に

虫歯治療や審美的改善に、広がる用途

白い歯は笑顔に輝きと自信を与えてくれます。「いつまでも白い歯のままでいたい」という声に応じて開発されたのが、合成樹脂(プラスチック)を用いた修復用レジンです。それまで虫歯修復の主流であった金属の材料に比べて、審美性が高く、天然の歯の色に近い修復が可能になりました。

また、質の高い審美修復が可能なることから、虫歯治療だけでなく、欠けた歯の形態回復や、歯に盛り足して歯と歯の隙間を治すなど、審美的改善を含めたさまざまな用途で使用されています。

たゆまない製品開発で日本の修復用レジンリード

健康保険適用治療が可能であることもあり、いまや虫歯治療の主流となった修復用レジン。当社の修復用レジンの歴史は、1951年に発売した「ダイレクトエナレジン」から始まりました。

初期のものには経年による変色や耐久性の低下、歯の神経への刺激といった面での影響も懸念されていました。当社は、こうした問題点の改善に取り組み、1985年に現在では一般的となっている光重合型コンポジットレジン*の「ライトフィル」を国内で初めて開発しました。「ライトフィル」は、歯の神経への刺激に配慮し、より天然歯に近い透明性と優れた耐久性を兼ね備えた画期的な製品でした。

また、2000年には材料自体が口腔内で持続的にフッ素の放出と取り込みを繰り返すコンポジットレジン「ビューティフィル」を開発。現在では、さらに研究を重ね、治療時に歯科医の先生や患者様の負担を軽減するため、操作性を大幅に向上させた「ビューティフィルII」へと進化しています。



審美性歯科充填用コンポジットレジン「ビューティフィルII」により、審美的な修復が可能です。



<写真提供：秋本尚武先生(鶴見大学歯学部)>

ビューティフィルII

これら修復用レジンを含む化工品類は、市場の成長とともにシェアの拡大が見込まれる分野であるため、今後も審美性と機能性の両面を追求した新製品・新技術の開発に注力していきます。

* 光重合型コンポジットレジン：安全な可視光線を当てて硬化させる樹脂複合材料

操作性の向上と優れた接着耐久性を実現
ビューティボンド (2008年9月発売)

「ビューティボンド」は、虫歯治療で使用するコンポジットレジンに歯に接着させる歯科用象牙質接着材です。

2種類の新規モノマーの配合とレジン組成の工夫により、歯のエナメル質や象牙質に対してバランス良く接着、優れた接着耐久性を実現しました。また、混和や2液を塗布する必要のない「1液性」で、術者にとって重要な操作性の向上と時間短縮を実現した材料です。



特集

松風グループの「ものづくり力」

スペシャリティファームを目指し、品質向上とコストダウンへのあくなき挑戦を続けています。

歯科業界は、医療費抑制政策の継続・強化や、業界全域における供給過剰など、厳しい環境におかれている一方で、審美・予防・口腔衛生に対する意識は年々高まっており、これらの市場は拡大しつつあります。当社は、得意分野において世界的にも高い評価を得る新製品開発型企業(スペシャリティファーム)を目指し、ニーズに合った新製品の開発に注力するとともに、品質向上とコストダウンに取り組み、競争力の向上に努めています。ここでは製造・流通における当社の取り組みをご紹介します。

→ 世界トップクラスの生産量と多品種少量生産を実現する生産体制

当社は、歯科医療を口腔機能の維持のみならず、全身の健康維持に寄与し、疾病の発生リスクを抑える予防的治療ととらえ、変化する多様なニーズにきめ細かに応えるため、多品種少量生産を実現し、先進的医療の普及に努めています。現在では、京都本社をはじめ国内外に生産拠点を構え、グローバルな生産体制の構築を推進しています。

レジン歯の生産拠点である滋賀松風では、硬質レジン歯「エンデュラ」や「NCベラシア」をはじめ、年間4,500万本のレジン歯を生産しており、単一工場としては世界トップクラスの人工歯生産量を誇っています。また、人によって歯の色や形、大きさが異なるこ

とから、「エンデュラ」は色・形態・サイズ・部位などの違いにより、約4,400種類にも及んでいます。

また、品質管理の面においても、高い良品率を誇り、高品質の製品を安定的に供給しています。一人ひとりの目による管理を重視し、工程ごとに徹底した品質チェックを行うなど、歯科医療に携わるメーカーとして品質管理の向上に努めています。

→ 生産現場でのコストダウン活動を原動力に、成長のサイクルを促進

メーカー間の競争が激化する中で、シェアを拡大していくためには、価格競争力の向上もまた必要不可欠です。当社では、生産部長を責任者とする「コストダウン・プロジェクト」を立ち上げ、それぞ

松風グループの生産拠点&生産品目

- Advanced Healthcare Ltd. [イギリス] (アドバンスド・ヘルスケア・リミテッド)
 - ・歯科用研磨材・歯科用セメント
- SHANGHAI SHOFU Dental Materials Co., Ltd. [中国] (上海松風歯科材料有限公司)
 - ・歯科用研削材・レジン歯
- 株式会社松風 [京都府]
 - ・全品種(人工歯類、研削材類、金属類、化工品類、セメント類他、機械器具類その他)
- 株式会社滋賀松風 [滋賀県]
 - ・硬質レジン歯・レジン歯
- 株式会社昭研 [京都府]
 - ・歯科用研磨材・工業用研磨材
- 株式会社プロメック [埼玉県]
 - ・ネイル材料・ネイル機器・咬合器



硬質レジン歯「エンデュラ」

topics

仙台営業所を新築移転

このたび仙台営業所を新築移転し、2008年10月14日から新たな拠点で営業を開始しました。

新営業所は、JR仙台駅から北へ徒歩約10分の場所に位置しています。オフィスや倉庫・出荷スペースの拡充、歯科関係者向けの研修会が開催できる研修施設の設置など営業所機能を強化しました。これからの東北地域を担う要所として、歯科医療のレベルアップと顧客サービスの向上を目指していきます。



口腔内写真撮影セミナーを開催 ～「アイススペシャルC-I」の説明・実演～

2008年9月28日、本社研修センターにおいて、「マスターできる!モチベーションアップにつながる口腔内写真撮影のテクニック」セミナーを開催しました。

当社製品の販売促進活動とより良い歯科医療を目指し、臨床現場でご活躍される歯科関係者を対象に行ったもので、今年2月に発売したデジタル口腔撮影装置「アイススペシャルC-I」の効果的な使い方や短時間で撮影するコツなどを紹介しました。臨床現場に造詣の深い先生によるデモンストレーションも交えた実践的内容で、現場導入を促進する一助となりました。



れの生産現場において設定したコストダウンのテーマのもと、PDCA手法による生産の効率化、生産能力の向上につながるコストダウン活動に取り組んでいます。

また、熟練技術者の定年退職を見据えた生産技術の継承に取り組む一方で、機械設備による省力化を積極的に進め、コストダウンを図っています。これらの活動は、生産能力のみならず品質競争

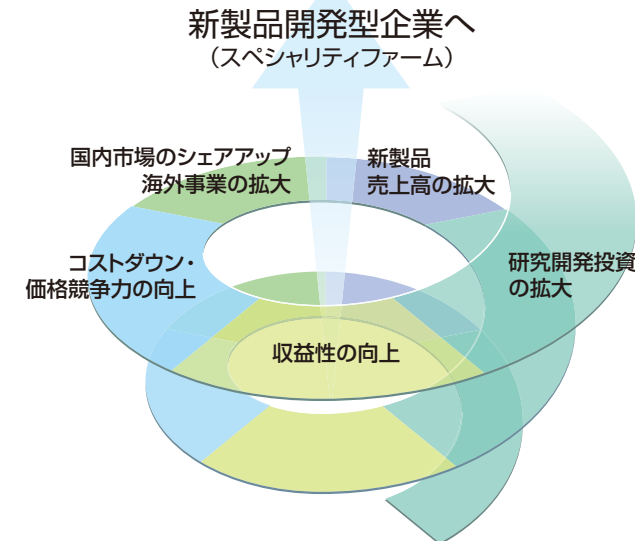
力の向上という面でも重要なテーマであり、自社製作並びに外部購入での設備投資を検討し、推進しています。

コストダウン活動は、国内の生産現場にとどまりません。2003年には、中国の生産拠点として上海松風歯科材料有限公司を設立。研削材やレジン歯の生産の一部を移管し、コストダウンを図っています。

こうしたコストダウン活動を推進してきた結果、2003年3月期の自社生産原価率59.5%に対して、2008年3月期の自社生産原価率は52.4%と7.1ポイントの低下を実現しました。

今後もコストダウン活動を推進し、価格競争力を高めていくとともに、収益性の向上、研究開発投資の拡大、新製品売上高の拡大、国内市場のシェアアップ・海外事業の拡大へと、成長のサイクルを回す原動力としていきます。

成長のサイクル



連結貸借対照表

科目	前中間期末 平成19年9月30日現在	当第2四半期末 平成20年9月30日現在	前期末要約 平成20年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	13,439	11,426	11,326
現金及び預金	3,812	4,996	3,525
受取手形及び売掛金	2,515	2,324	2,758
有価証券	3,355	179	1,474
棚卸資産	3,146	3,114	2,966
その他	811	951	829
貸倒引当金	△201	△140	△228
固定資産	11,429	10,211	10,026
有形固定資産	4,164	5,043	4,519
建物及び構築物	2,613	2,821	2,749
その他	1,550	2,222	1,769
無形固定資産	54	883	786
のれん	—	668	712
その他	54	215	73
投資その他の資産	7,210	4,283	4,721
投資有価証券	6,256	3,296	3,697
その他	964	994	1,033
貸倒引当金	△10	△7	△9
① 資産合計	24,868	21,637	21,353

point ① 資産

前期末に比べ、保有株式の時価評価が前期末比で低下したことによる投資有価証券の減少はありましたが、仙台営業所の新築移転及び大阪営業所の用地取得に伴う土地等が増加した結果、資産合計は増加しました。

point ② 売上高

デジタル関連事業で売上げが引き続き堅調に推移したことに加え、ネイル関連事業への本格的な参入により、前年同期比13.7%の増収となりました。

科目	前中間期末 平成19年9月30日現在	当第2四半期末 平成20年9月30日現在	前期末要約 平成20年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	3,095	3,384	3,075
支払手形及び買掛金	613	761	633
短期借入金	1,020	1,020	1,020
その他	1,462	1,602	1,421
固定負債	1,767	1,104	1,314
退職給付引当金	80	94	88
役員退職慰労引当金	493	412	515
その他	1,193	597	710
負債合計	4,862	4,489	4,389
(純資産の部)			
株主資本	18,467	16,800	16,352
資本金	4,474	4,474	4,474
資本剰余金	4,641	4,641	4,641
利益剰余金	9,512	10,246	9,798
自己株式	△161	△2,562	△2,562
評価・換算差額等	1,538	348	611
その他有価証券評価差額金	1,394	452	684
為替換算調整勘定	144	△104	△73
純資産合計	20,005	17,148	16,963
負債・純資産合計	24,868	21,637	21,353

point ③ 営業利益

ネイル関連事業の費用増加及び株式会社ネイルラボの株式取得に係るのれん償却費の発生等により販売費及び一般管理費は増加しましたが、堅調な売上げに伴う増収効果により、前年同期比13.2%の増益となりました。

point ④ 四半期(当期)純利益

特別利益として貸倒引当金戻入額及び関税還付金を計上したことに加えて、前年同期に計上した投資有価証券評価損が当四半期末時点では発生しなかったため、前年同期比24.4%の増益となりました。

連結損益計算書

科目	前中間期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	当第2四半期累計 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前期要約 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
② 売上高	7,598	8,636	15,212
売上原価	3,367	3,909	6,836
売上総利益	4,231	4,726	8,376
販売費及び一般管理費	3,491	3,889	6,907
③ 営業利益	739	837	1,468
営業外収益	190	187	355
営業外費用	150	167	310
経常利益	779	857	1,513
特別利益	74	148	63
特別損失	38	—	97
税金等調整前四半期(当期)純利益	815	1,005	1,479
法人税等	317	386	568
④ 四半期(当期)純利益	498	619	910

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前中間期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	当第2四半期累計 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前期要約 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	586	1,180	1,264
投資活動によるキャッシュ・フロー	△204	△928	43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△276	△173	△2,803
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	△10	△78
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	123	68	△1,574
現金及び現金同等物の期首残高	5,570	3,995	5,570
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	5,694	4,064	3,995

Topics

IRウェブサイトのご紹介

当社は、株主・投資家のみなさまに公平でタイムリーに情報を開示するとともに情報発信の充実に努めており、この一環として、当社ウェブサイト「IR情報」のページを設けています。

この「IR情報」のページは、11のコンテンツから構成され、「ニュースリリース」では最新の企業動向や主要な新製品情報などを発信しています。

業績については、ご理解いただきやすいように複数のコンテンツを設けています。「業績ハイライト」では、直近5期の主要な経営指標の推移をご覧いただけます。また、「財務情報ライブラリー」では、決算短信、決算説明会資料、報告書などの各種資料を、さらに「IRカレンダー」では、今後のIR関連のスケジュールや過去に行われた個人投資家向け説明会を動画でご覧いただくことができます。

株主優待などをご案内する「株主情報」なども設けておりますので、ぜひ当社ウェブサイトの「IR情報」のページをご覧ください。



貸借対照表

科目	前中間期末 平成19年9月30日現在	当第2四半期末 平成20年9月30日現在	前期末要約 平成20年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	9,986	7,558	7,512
現金及び預金	1,485	2,720	1,195
受取手形及び売掛金	2,538	2,240	2,568
有価証券	3,355	1	1,305
棚卸資産	2,331	2,234	2,149
繰延税金資産	341	335	335
その他	131	152	174
貸倒引当金	△196	△127	△217
固定資産	11,813	10,775	10,675
有形固定資産	2,674	3,465	3,068
建物	1,804	1,980	1,958
その他	869	1,484	1,109
無形固定資産	53	184	41
投資その他の資産	9,086	7,124	7,565
投資有価証券	6,256	3,287	3,687
関係会社株式	1,676	2,773	2,773
その他	1,173	1,079	1,122
貸倒引当金	△20	△15	△18
資産合計	21,800	18,333	18,187

科目	前中間期末 平成19年9月30日現在	当第2四半期末 平成20年9月30日現在	前期末要約 平成20年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	2,706	2,899	2,609
支払手形及び買掛金	612	735	589
短期借入金	1,020	1,020	1,020
未払法人税	172	246	68
その他	901	897	932
固定負債	1,581	915	1,131
役員退職慰労引当金	488	406	510
預り保証金	362	356	357
その他	729	152	264
負債合計	4,288	3,814	3,740
(純資産の部)			
株主資本	16,117	14,066	13,761
資本金	4,474	4,474	4,474
資本剰余金	4,641	4,641	4,641
利益剰余金	7,163	7,512	7,207
自己株式	△161	△2,562	△2,562
評価・換算差額等	1,394	452	684
その他有価証券評価差額金	1,394	452	684
純資産合計	17,512	14,518	14,446
負債・純資産合計	21,800	18,333	18,187

損益計算書

科目	前中間期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	当第2四半期累計 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前期要約 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
①…売上高	6,565	6,931	13,133
売上原価	3,414	3,623	6,864
売上総利益	3,150	3,307	6,269
販売費及び一般管理費	2,666	2,753	5,342
①… 営業利益	484	554	926
営業外収益	246	248	371
営業外費用	149	173	342
経常利益	580	629	955
特別利益	12	90	—
特別損失	38	—	97
税引前四半期(当期)純利益	554	719	858
法人税等	198	243	330
四半期(当期)純利益	356	476	527

point ① 売上高及び営業利益

国内では、前期に発売したデジタル口腔撮影装置「アイススペシャルC-I」が順調に売上げを伸ばしました。一方、海外では、為替が円高基調で推移したものの、アジアを中心に人工歯類、化工品類が堅調に売上げを伸ばした結果、前年同期比で増収増益となりました。

連載コラム 歯のおはなし ①

なぜ、虫歯になるの?

虫歯が発症する4つの条件

虫歯とは、一言で表すなら「ミュータンス菌による感染症の一種」です。ミュータンス菌は、口腔内に残った食べかすの中の糖類を分解し、プラーク(歯垢)と乳酸を作り出します。粘着性のあるプラークは、歯に付着し、ミュータンス菌の住みかになります。プラークの中で増殖したミュータンス菌の作る乳酸が歯を溶かすことによって、虫歯が発症するのです。

つまり、虫歯になる条件は、「歯」「ミュータンス菌」「糖類」の3つ。その3つが重なった状態が長く続けば続くほど、虫歯になりやすいことから「時間」は4つ目の条件といえるでしょう。



虫歯対策と早期発見で効果的な予防を

虫歯は、まず表面のエナメル質が酸に溶かされて穴が空き、2層目の象牙質、歯の神経へと進行していきます。エナメル質の段階であれば、ほとんど痛みなく治療が可能です。しかし、この時点では自覚症状がほとんどないため、定期的に検診をしていないとなかなか発見できません。象牙質の段階になると、冷たい物や甘い物がしみるという自覚症状が出てきます。ここまでは治療も比較的速やかに行えますが、歯の神経まで進行すると、歯がほとんど壊れ腐っているため、治療に長い時間がかかるようになります。これが一般的に言われている虫歯のメカニズムですが、最近では初期の段階でエナメル質の表面から進行するのではなく、内部に酸がしみこみ、表層下で進行しているという学説もあります。

虫歯発生のメカニズムを知って、日頃から歯磨きなどの予防を心掛けるとともに、歯科医院で定期的にメンテナンスを受けることで虫歯を早期発見し、初期の段階で処置を済ませることが大切です。

会社の概要

社名 株式会社 松 風
(SHOFU INC.)
事業内容 歯科材料及び歯科用機器の製造・販売
設立年月日 大正11年5月15日
資本金 4,474,646,614円
本社・工場 京都市東山区福稲上高松町11番地
〒605-0983 TEL 075-561-1112(代)
支社 東京支社 東京都文京区
営業所 札幌営業所 札幌市中央区
仙台営業所 仙台市青葉区
名古屋営業所 名古屋市中東区
大阪営業所 大阪市中央区
福岡営業所 福岡市博多区
インターネットホームページURL <http://www.shofu.co.jp/>

取締役及び監査役

※取締役社長 太田 勝也	取締役 早川 雄一
※専務取締役 脇野 喜和	取締役 近持 貴之
専務取締役 白波瀬 文雄	取締役 岩崎 聡
常務取締役 関 敏明	取締役 中嶋 義和
常務取締役 根来 紀行	常勤監査役 池内 幹夫
常務取締役 西田 喜直	常勤監査役 井上 秀
取締役 松村 光常	監査役 西田 憲司
取締役 牧野 宏治	監査役 酒見 康史
取締役 南部 敏之	※は代表取締役

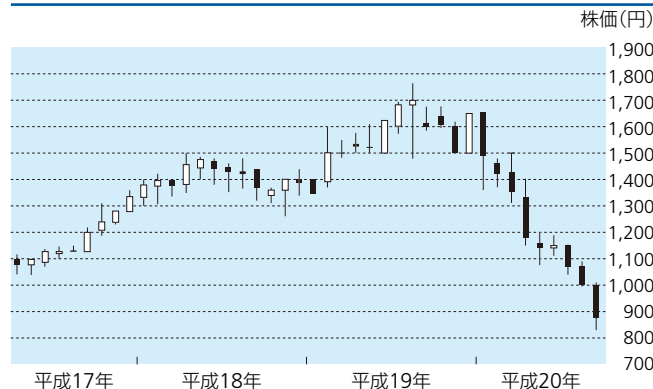
会社が発行する株式の総数 64,000,000株
発行済株式総数 16,114,089株
株主数 1,943名

大株主の状況 (平成20年9月30日現在)

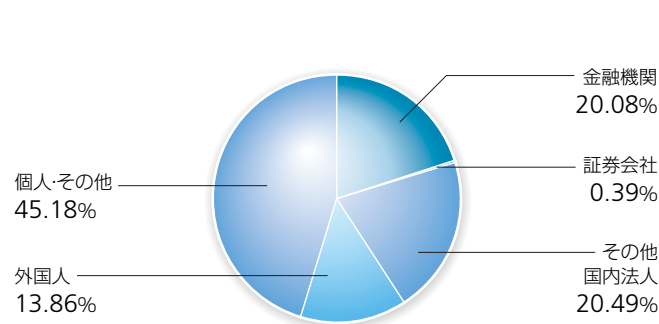
株主名	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
スチールパートナーズジャパンストラテジックファンド(オフショア),エルピー	1,662	10.32
日本生命保険相互会社	718	4.46
株式会社 京都銀行	712	4.42
株式会社 滋賀銀行	602	3.74
松風 慎一	506	3.14
松風 定二	418	2.60
松風社員持株会	416	2.58
住友信託銀行株式会社	364	2.26
日新火災海上保険株式会社	339	2.11
大日本スクリーン製造株式会社	330	2.05

※当社は自己株式を1,839千株(11.41%)保有しておりますが、上記の主な株主から除いております。

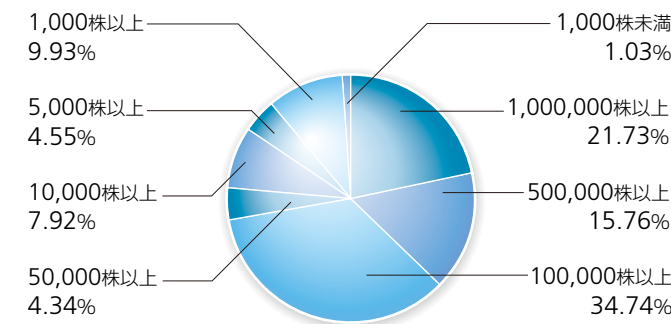
株価の推移 (平成17年4月～平成20年9月)



所有者別分布状況



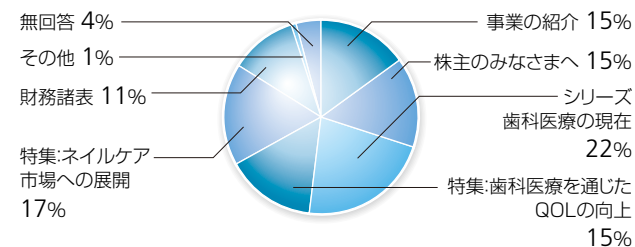
所有株数別分布状況



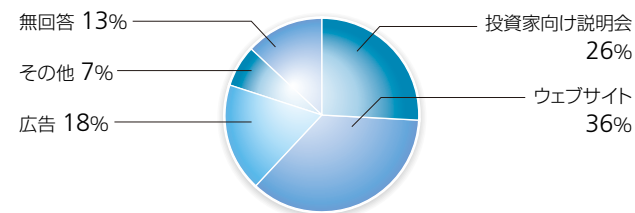
株主アンケート 集計結果のご報告

第136期報告書で株主のみなさまにご協力をお願いしたアンケートにつきまして、前回を上回る多数の回答をいただきました。その集計結果と、頂戴しましたご意見・ご質問の一部をご報告いたします。ご協力ありがとうございました。

① どのページに一番興味を持たれましたか。



② 情報入手手段としてどのようなものを希望されますか。



③ 報告書で取り上げて欲しいこと、知りたい情報はありますか。

- 将来の事業の見通しやシェアについて知りたい。
当社の事業方針については、本誌の「株主のみなさまへ」の中でもお伝えさせていただいておりますが、当社ウェブサイトに掲載している決算説明会資料などを併せてご覧いただくと、よりご理解いただけると思います。また、今回から事業別セグメントを掲載したうえで、歯科の市場シェアを紹介しております。
- 歯の治療法について教えてほしい。
今回から、当社情報にとどまらず、歯にまつわる話を広く紹介するコラムの連載を開始しました。今後も、歯の健康や治療に関する話題を、さまざまな角度から取り上げてまいります。
- 製品情報についてもっと詳しく知りたい。
シリーズ「歯科医療の現在」では修復用レジンの歴史や製品について、また「特集」では製品を作る生産現場での取り組みについて紹介しています。個々の製品の詳細情報につきましては、当社ウェブサイトのトップページ「製品情報」ボタンから「総合カタログ」をご参照ください。

<http://www.shofu.co.jp/>